

## 村の歯科保健活動に

# 県国保連理事長表彰

村は健康ステップアップ運動表彰団体として、この

たび岩手県国民健康保険団体連合会理事長表彰を受賞しました。



国保歯科診療所スタッフの皆さん

村では国保歯科診療所、保健センターが中心となり、保健・医療・福祉関係団体と職員がネットワークを組み、歯科保健活動を一つの地域づくりと捉えた活動を続け、3歳児のう歯（虫歯）有病率などが大幅に改善した功績が認められました。



歯科健診の様子

められました。

また、成人・高齢者においても早期治療の割合増加や在宅寝たきり者などの自立度の改善などがみられ、あらゆる年齢層に、歯の健康が心身の健康に大きく関わることへの認識を深めた功績で表彰されました。

## 人権擁護委員に

# 釜谷さんを再任

10月1日付けで、太田名部の釜谷壽人さん(64)が人権擁護委員に再任されました。

伝達式は10月6日、役場で行われ、深渡宏村長が同席する中、盛岡地方法務局宮古支局の佐々木満男支局



委嘱状を受け取る釜谷さん(右)

長が委嘱状を手渡ししました。

た。

釜谷さんは「人権擁護という大任で重責を感じていますが、願いは今大問題となっている『いじめ』『虐待』などがない人間味あふれる村であるよう微力を尽くしたいです」と話していました。

任期は平成22年9月30日までの3年間です。

## 神楽にカラオケ、再会喜ぶ

### 18回ふるさと普代会の集い

ふるさと普代会(澤口俊夫会長、会員176人)の平成18年の総会と集いが10月22日、東京都千代田区の九段会館で開かれました。

集いには会員ら約70人が出席。総会では17年度の事業報告や決算、18年度の事業計画、予算を満場一致で承認しました。



鵜鳥神楽が2演目披露されました

総会終了後の懇親会では、年に一度の再会を喜び合い、各テーブルで近況報告などに花が咲き、思い思いが楽しいひとときを過ごしていました。

アトラクションでは村の伝統芸能鵜鳥神楽が披露され、会場を盛り上げたほか、会員の皆さんが持ち寄った雑貨品などのオークションも行われました。

最後はカラオケで「北国の春」や普代中の校歌も皆で合唱し、集いは幕を閉じました。

オークションでの収益2万6千円は村に寄付され、澤口会長から深渡宏村長に手渡されました。



「北国の春」を熱唱するふるさと普代会の皆さん